

Accuphase

PRECISION MDSD DIGITAL PROCESSOR

プレシジョン MDSD デジタル・プロセッサ

DC-801 取扱説明書



ご使用前に、この「取扱説明書」と別冊の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、お客様カードと引きかえにお届けいたします「品質保証書」と一緒に大切に保存してください。

このたびはアキュフェーズ製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございました。

最高峰のオーディオ・コンポーネントを目指して完成されたアキュフェーズ製品は、個々のパーツの選択から製造工程、最終の出荷にいたるまで厳重なチェックを行い、その過程と結果の個々の履歴は、製品全体の品質保証に活かされています。このような品質管理から生まれた本機は、必ずやご満足いただけるものと思います。

末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

3年間の品質保証と保証書

当社製品の品質保証は3年間です。付属の「お客様カード」に必要事項を記入の上、お早めに(なるべく10日以内に)ご返送ください。「お客様カード」と引きかえに「品質保証書」をお届けいたします。

※「お客様カード」のご返送や「品質保証書」の発行について、詳しくは19ページをご参照ください。

製品に関するお問い合わせや異常が認められるときは、当社品質保証部またはお求めの当社製品取扱店へ、直ちにご連絡ください。

尚、品質保証は日本国内のみ適用されます。

Accuphase warranty is valid only in Japan.



マークについて

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人身事故の発生する可能性や製品に重大な損害を生じる恐れがあることを示しています。お客様への危害や、機器の損害を防止するため、表示の意味をご理解いただき、本製品を安全に正しくご使用ください。



この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が死亡または重傷を負う可能性があり、その危険を避けるための事項が示してあります。



この表示を無視して、誤った使い方をすると、人が軽度の傷害を負う可能性や製品に損害を生じる恐れがあり、その危険を避ける為の事項が示してあります。

付属品を確認します

- | | | | | | |
|-----------------|-------|----|----------------------|-------|----|
| ● 取扱説明書 | | 1冊 | ● 目隠しシール | | 1枚 |
| ● 安全上のご注意 | | 1冊 | ● プラグ付オーディオ・ケーブル(1m) | ... | 1組 |
| ● お客様情報の取扱いについて | | 1枚 | ● AC電源コード(2m) | | 1本 |
| ● お客様カード | | 1枚 | ● クリーニング・クロス | | 1枚 |

目 次

付属品を確認します	表紙裏頁
1. ⚠ 警告 安全上必ずお守りください	2
⚠ 注意、お手入れ	2
2. 各部の名前	3, 4
フロントパネル、リアパネル	3
ディスプレイ部、リモート・コマンダー RC-100	4
3. 接続図	5
4. 各部の動作説明	6~7
5. 入力ソースの選択	8
6. 接続方法	9~13
DP-800(SA-CD/CD)の演奏	9
CDなどをデジタル入力で演奏	10
DG-38のデジタル接続例 — EXTERNAL DSPの使用	11
DG-38のアナログ接続例	12
デジタル・レコーダーでの録音・再生の接続例	13
7. 保証特性	14
8. 特性グラフ	15
9. MDSD方式のブロック・ダイアグラム	16
10. ブロック・ダイアグラム	17
11. 故障かな?と思われるときは	18
12. アフターサービスについて	19

1. ⚠️ 警告 安全上必ずお守りください

ご使用前にこの『取扱説明書』と別冊の『安全上のご注意』を良くお読みの上、製品を安全にお使いください。

■電源は必ずAC(交流)100V、50Hz/60Hzを使用する。

- AC100V(50Hz/60Hz)以外で使用すると、感電や火災の原因となります。

■電源コードは取り扱いを誤ると、感電や火災の原因となり危険です。

- 付属の電源コード以外は絶対に使用しないでください。
- 付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。

■密閉されたラック等には絶対に設置しない。通風が悪いと機器の温度が上り、火災や故障の原因となります。

■放熱のため製品の周辺は他の機器や壁等から充分間隔(10cm以上)をとる。

■脚の交換は危険ですから行わない。取り付けネジが内部の部品に触れると、火災や感電、故障の原因になります。

■機器の上に水などの入った容器(花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など)を置かない。

■火災又は感電を防止するために、雨が降る場所又は湿気のある場所では絶対使用しない。

■キャビネットや底板は絶対にはずさない。内部に手などで触れると感電や故障の原因となり、大変危険です。

■次の場合には、まず本体の電源スイッチを切り、必ず電源コードをコンセントから抜く。

- 内部に水や薬品がかかった場合。
- 内部に異物(燃えやすい物やヘアピン、釘、硬貨など)が入った場合。
- 故障や異常(発煙やにおいなど)と思われる場合。
- 落としたり、破損した場合。

※電源コードをコンセントから抜かないと、電源スイッチをOFFにただけでは、本機への電源供給が完全に遮断されません。そのまま使用すると火災や感電、故障の原因となります。

※必ず当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。

⚠️ 注意

■設置場所について。

必ず水平な場所に設置してください。次のような場所は、故障や事故の原因となります。

- 通風が悪く、湿気やほこりの多い場所
- 直射日光の当たる所、極端に寒い所
- 暖房器具の近くなど温度の高い所
- 振動や傾斜のある不安定な場所

チューナーやテレビ、DVDレコーダー等から離して設置する。

- 近くに置くと雑音や映像の乱れが生じることがあります。(特に室内アンテナの場合は注意。)
- アンテナ線と本機の電源コードや入・出力コードを離して設置してください。

■入・出力コードを接続する場合は、必ず各機器の電源を切ってから、確実に行ってください。

特に、RCAタイプのピンプラグをジャックから抜き差しするときは、一瞬(-)側が浮いた状態になるため、大きなショック・ノイズを発生し、スピーカーを破損する原因となります。

■電源スイッチのOFF直後、20秒以内に再びONしない。

■他の機器と直接重ねて使用しない。

■入・出力端子などに接点保護剤などを使用しますと、樹脂部が経年変化で破損する場合がありますので使用しないでください。

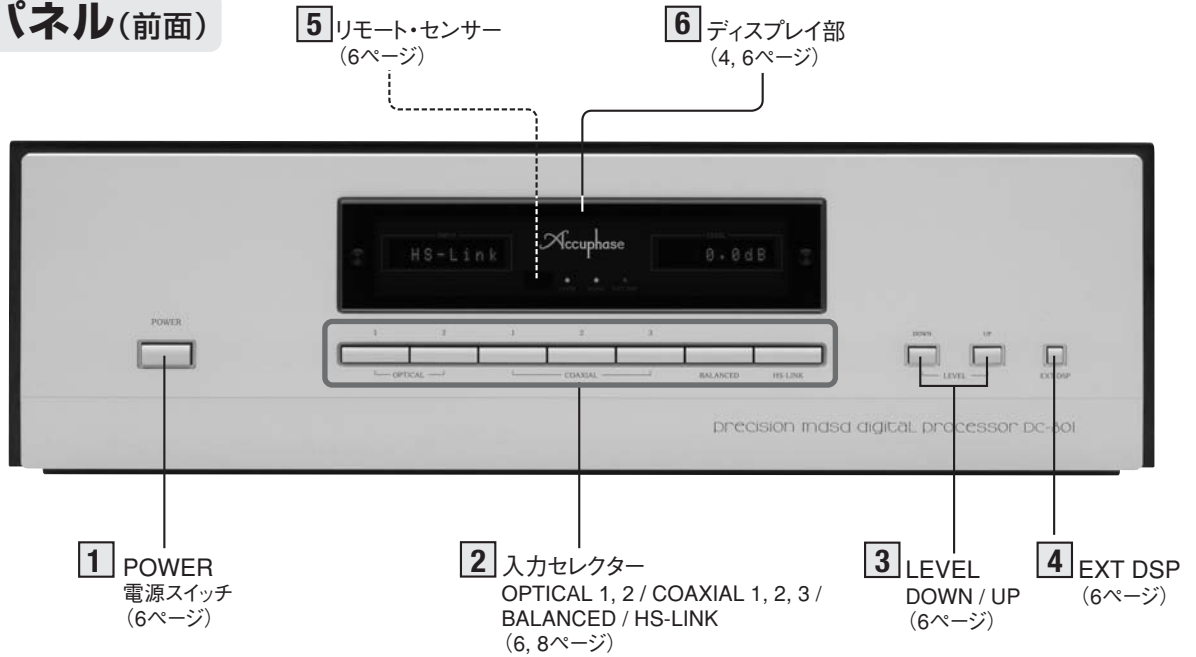
お手入れ

- お手入れの場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本体のホコリやゴミ、指紋等汚れの拭き取りには付属のクロスを使用してください。特にウッド・キャビネットの場合には、表面を傷つけることなく、きれいに拭き取ることができます。
- 付属のクロスは、洗濯して繰り返し使用できます。洗剤で洗濯後は、よく水洗いし乾いた状態でご使用ください。
- ベンジン、シンナー、油、ワックス等を使用してお手入れは、表面を変色させたり、傷つけたりしますので使わないでください。

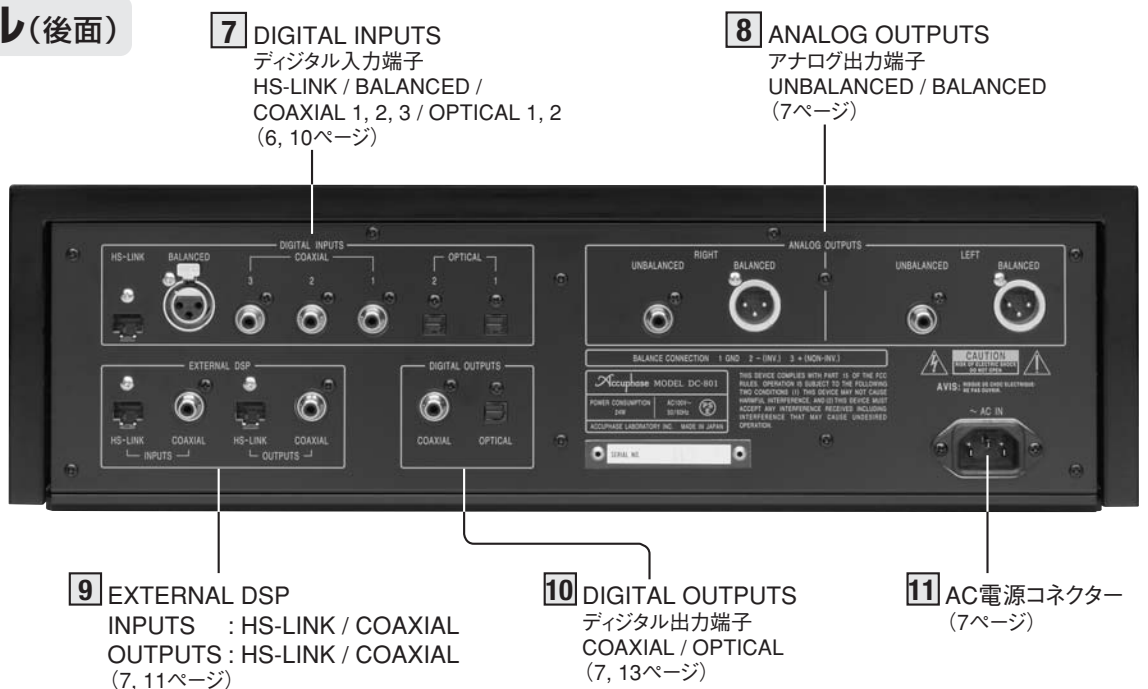
2. 各部の名前

詳しい説明は各項目の()内のページを参照してください。

フロントパネル(前面)

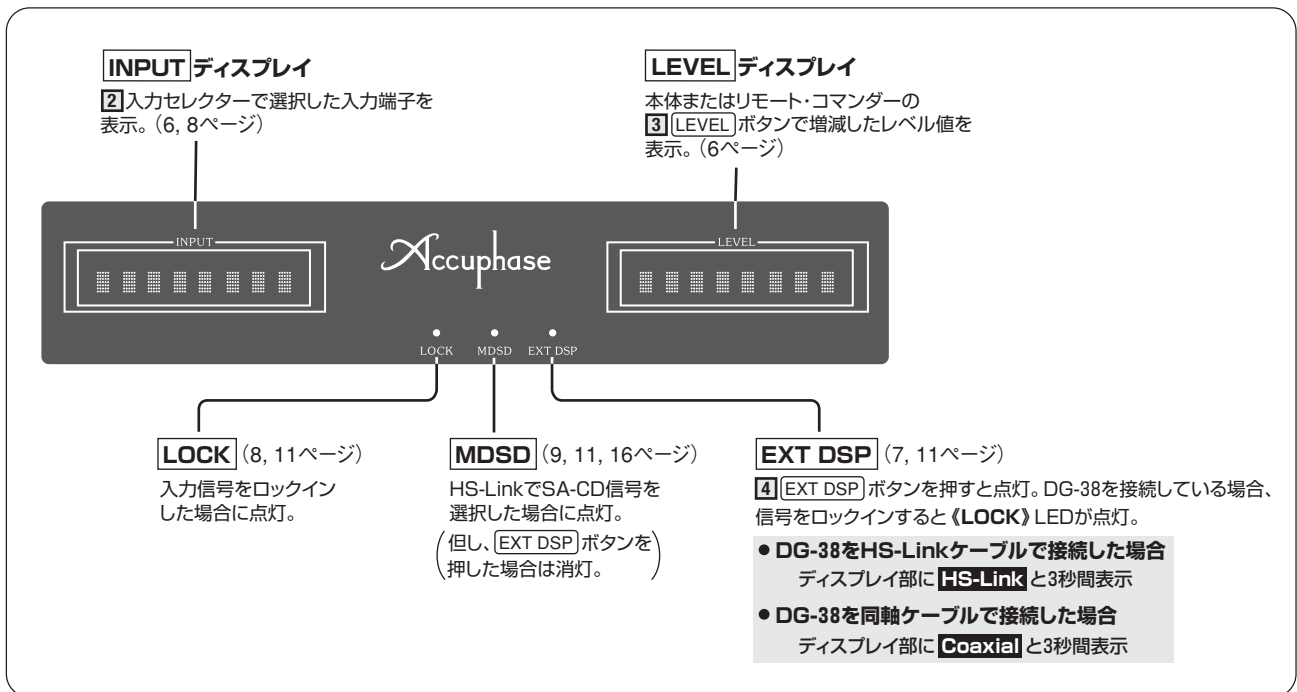


リアパネル(後面)



6 ディスプレイ部

●イラストは説明用ですので、実際の表示とは異なります。

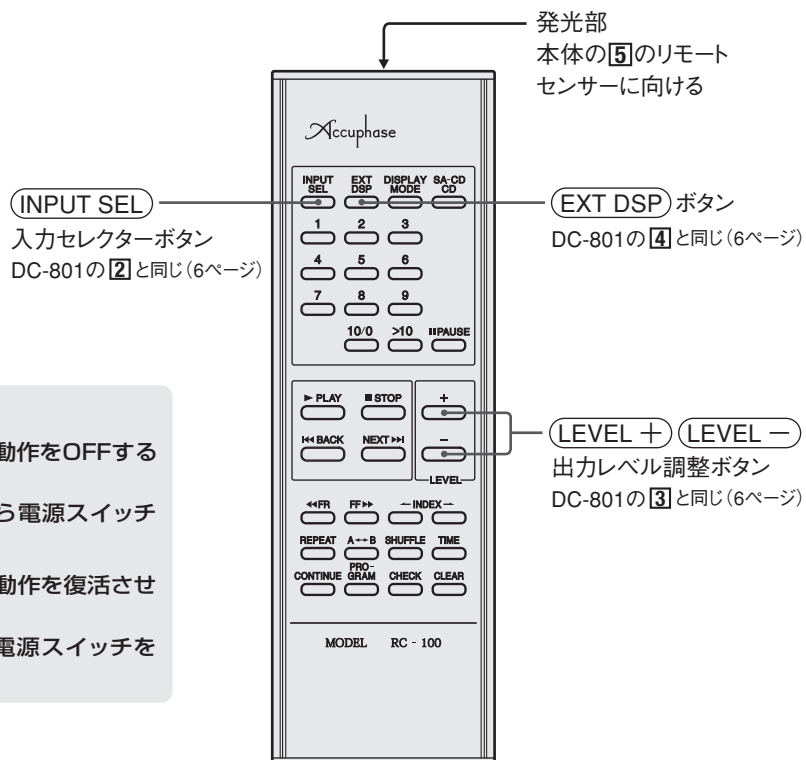


リモート・コマンダー RC-100

※RC-100は、DP-800に付属していますが、DC-801には付属していません。

※RC-100により、DC-801の次の機能をコントロールすることができます。

(INPUT SEL) (EXT DSP) (LEVEL +) (LEVEL -)



注意

■リモートコマンダー RC-100の動作をOFFすることができます。

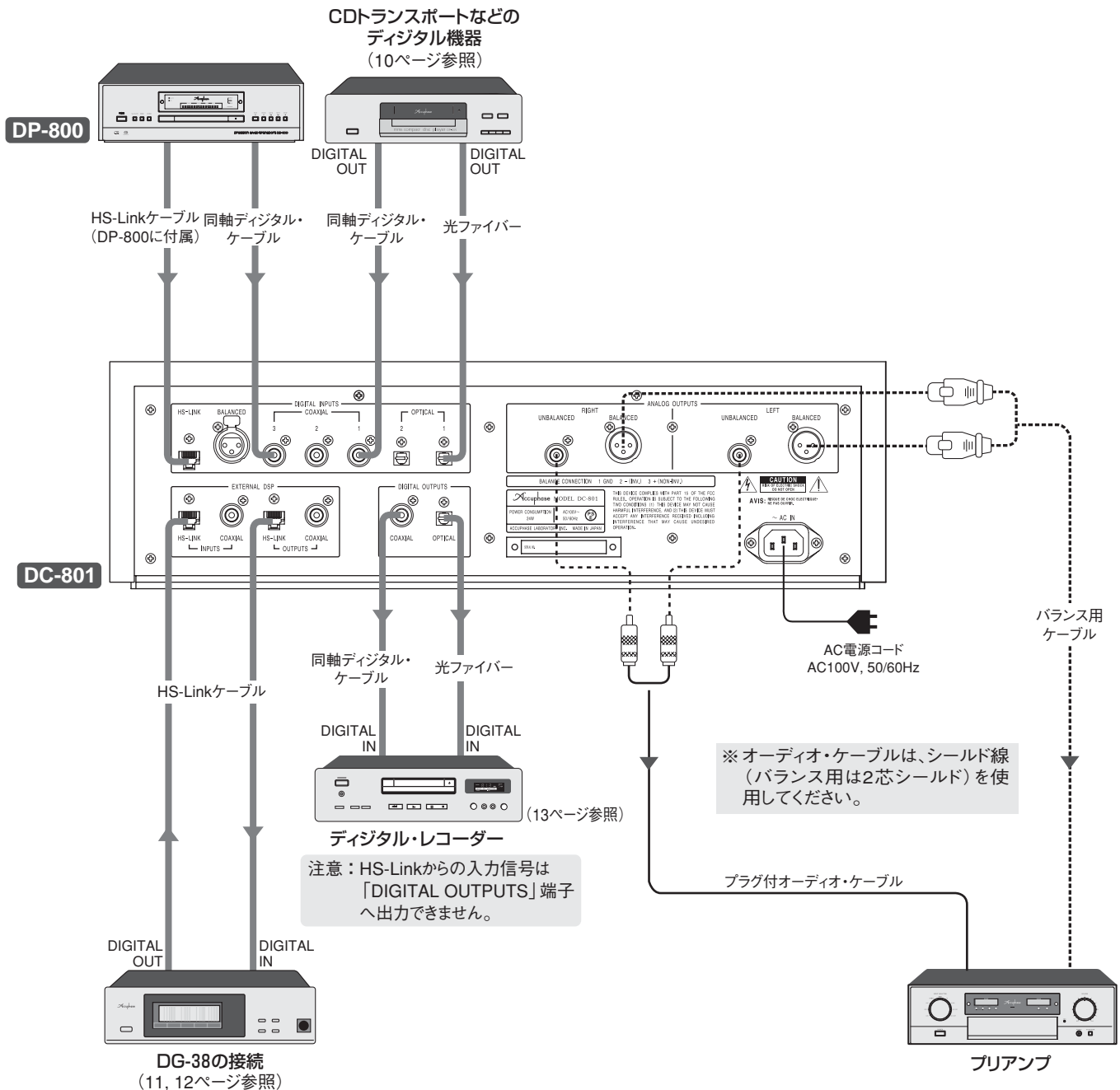
(LEVEL DOWN) ボタンを押しながら電源スイッチをONします。

■リモートコマンダー RC-100の動作を復活させます。

(LEVEL UP) ボタンを押しながら電源スイッチをONします。

3. 接続図 **注意** : 接続するときは、必ず各機器の電源を切る。

- 注意**
- DP-800の接続は、HS-Linkケーブル(SA-CD/CDの伝送)または75Ω同軸ケーブル(CDのみの伝送)を使用します。
 - DP-800のHS-Linkからの信号はデジタル録音できません。
 - デジタル機器との接続は、HS-Linkケーブル、75Ω同軸ケーブル、光ファイバー、デジタル・バランス・ケーブル(特性インピーダンス 110Ω)などを使用します。
 - アナログ出力の接続は、プラグ付オーディオ・ケーブルを使用し、LEFT(左)、RIGHT(右)を正しくつないでください。
 - アナログ出力のバランス用とアンバランス用ケーブルは同時に接続しないでください。アースがループになって、ノイズを発生させる原因となります。



4. 各部の動作説明

1 POWER — 電源スイッチ

押すと電源が入り、再び押すと切れます。
電源を入れてから回路が安定するまで約4秒間は、ミュートイ
ング回路が作動しますので出力はありません。

- 電源スイッチをOFFにしても、それまでに設定／変更された機能は記憶されます。
- 電源スイッチのOFF直後、20秒以内に再びONしないでください

2 入力セレクター

リアパネルの**7**デジタル入力端子に入力した信号を、各ボタンを押して選択します。

リモート・コマンダー RC-100の**(INPUT SEL)**ボタンでも、同様に選択可能です。

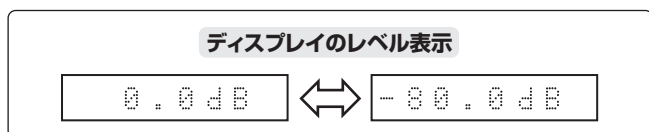
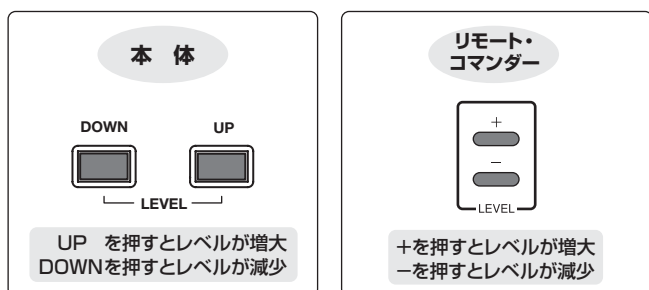
詳しい説明は8ページ参照。

3 LEVEL — 出力レベル調整ボタン

アナログ出力のレベル調整をします。

デジタル方式により、0dB～-80dBの可変ができます。

リモート・コマンダー RC-100でも同様の動作が可能です。



4 EXT DSP

リアパネルの**9**EXTERNAL DSP端子に接続したDG-38などの挿入をON/OFFするボタンです。

リモート・コマンダー RC-100の**(EXT DSP)**ボタンでも、同様にON/OFF可能です。

詳しい説明は11ページ参照。

5 リモート・センサー

DP-800に付属しているリモート・コマンダーRC-100の赤外線信号の受光部です。リモート・コマンダーを使用するときは発光部をここに向けてください。

6 ディスプレイ部

INPUTディスプレイ

2入力セレクターで選択した入力ソース(端子)を文字表示します。

LEVELディスプレイ

(LEVEL)ボタンでコントロールするレベルを数字で表示します。

LEDは、各スイッチの動作ポジションなどを点灯表示

点 灯	動 作 状 態
LOCK	入力信号をロックインした場合に点灯
MDS D	HS-LinkでSA-CD信号を選択した場合に点灯
EXT DSP	4 (EXT DSP)ボタンを押した場合に点灯

※ 入力セレクターとレベルは、リモート・コマンダー RC-100でも同様に動作可能です。

7 DIGITAL INPUTS — デジタル入力端子

デジタル信号を各種接続ケーブルで入力することができます。

- HS-LINK …………… HS-Linkケーブル
- BALANCED …………… デジタル・バランス・ケーブル (特性インピーダンス 110Ω)
- COAXIAL 1, 2, 3 …… 75Ω同軸ケーブル
- OPTICAL 1, 2 ……… 光ファイバー

8 ANALOG OUTPUTS — アナログ出力端子

アナログ出力は、プリアンプの入力端子と接続します。

UNBALANCED (不平衡出力)ジャック

通常のピンプラグ付オーディオ・ケーブルで接続します。

BALANCED (平衡出力)コネクター

外来誘導雑音の排除能力に優れた、バランス伝送用出力コネクターです。アンプの入力コネクターがバランス入力を装備している場合には、良質なオーディオ信号の伝送が可能です。ピンの極性は、次のようになっています。



- ① : グラウンド
- ② : インパート(-)
- ③ : ノンインパート(+)

9 EXTERNAL DSP

デジタル・ヴォイシング・イコライザー DG-38などを接続して、デジタルでの音場補正が可能です。

⑨ (EXT DSP) ボタンを押してDG-38の挿入をON/OFFすることができます。

※DG-38の接続方法は11ページ参照。

10 DIGITAL OUTPUTS — デジタル出力端子

⑦ デジタル入力端子へ入力したデジタル信号を出力します。この端子にデジタル・レコーダーを接続してデジタル録音することができます。

注意

HS-Linkで入力したSA-CD/CDデジタル信号は、この出力端子には出力しないため録音することができません。

11 AC電源コネクター

付属の電源コードを接続します。



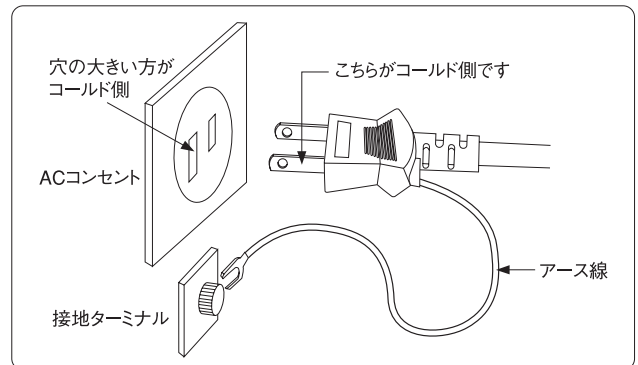
警告

電源は必ずAC100V、50/60Hz家庭用コンセントを使用する。

■電源コードに付いているアース線の接続

付属の電源コードには、プラグ側に接地用アース線が付いています。感電防止のため、このアース線を接地用ターミナルに接続すると、より一層安全です。

接地ターミナルの工事は、電気工事店にご相談ください。



■電源コードの極性について

本機は、トランスの巻き方向、部品の配線など極性を管理して、電源プラグのアース線が出ている方がコールド側になっています。機器の接続を統一したい場合は参考にしてください。

注意

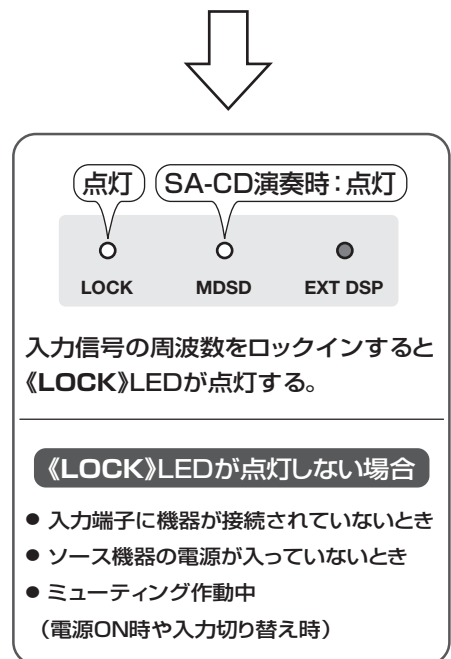
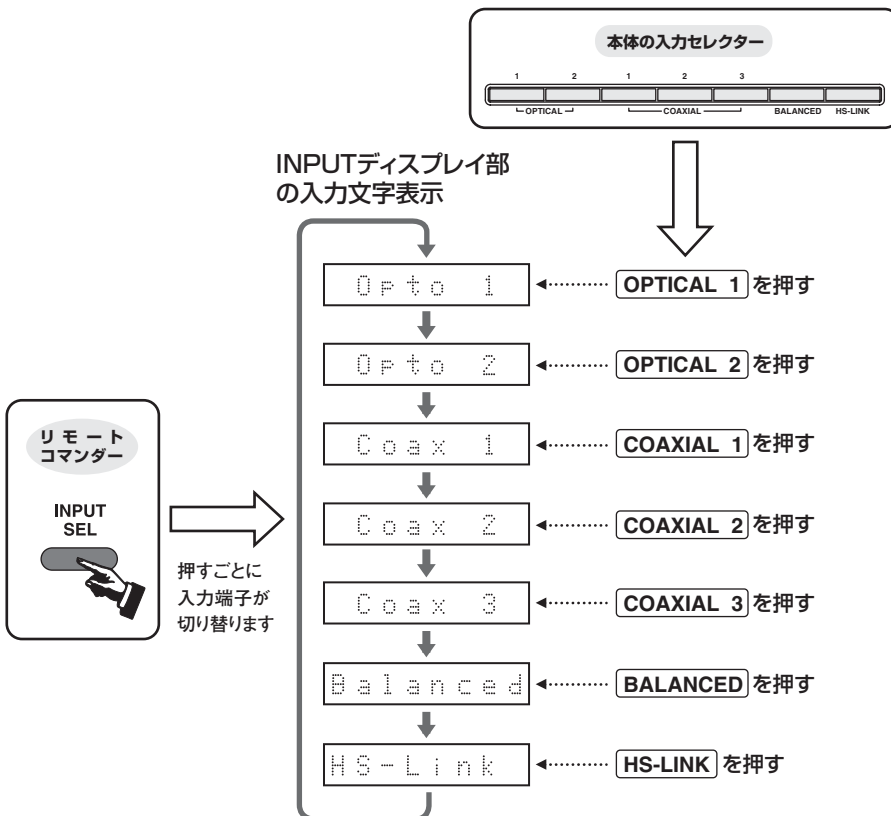
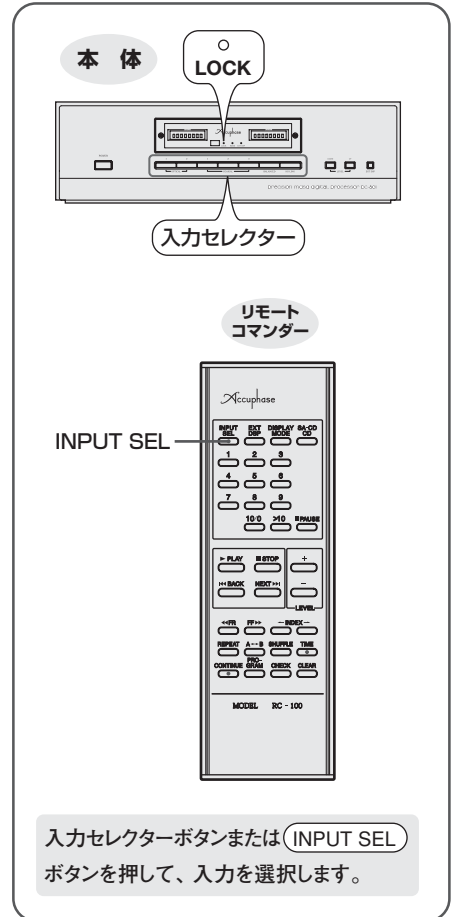
※室内コンセントの極性は一般に、向かって左側(穴が右に比べて大きい)がコールド側です。

※大地に対する電位は屋内配線の状況によって変化します。このためチェッカーなどを使用して測定した場合、電位が逆表示されることがあります。

5. 入カソースの選択

- 1 「接続機器のデジタル出力端子」と「本機のDIGITAL INPUTS端子」を接続します。
- 2 各機器の電源を入れます。
- 3 本体の入カセレクターボタンを押す、またはリモート・コマンダーの(INPUT SEL) ボタンを押して、接続した外部入力機器を選択します。
ディスプレイ部に入カポジションが文字表示され、入力信号をロックインすると《LOCK》LEDが点灯します。
- 4 接続機器の操作にて演奏をお楽しみ下さい。

入カセレクターボタンまたはリモート・コマンダー RC-100の(INPUT SEL) ボタンを押すごとに、入カポジションが切り替ります。



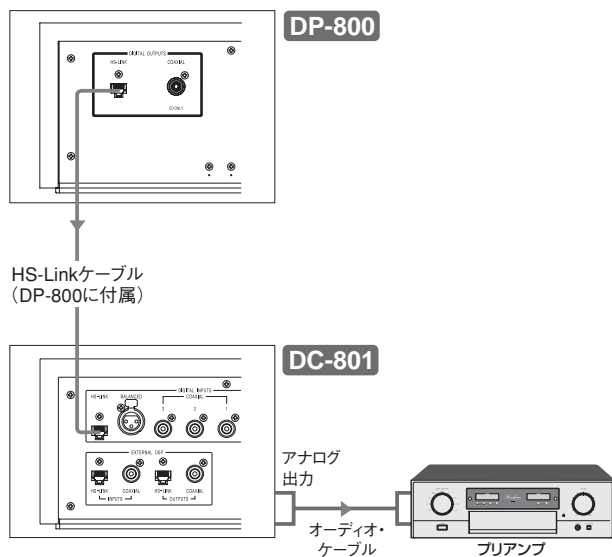
6. 接続方法

DP-800(SA-CD/CD)の演奏

DP-800から、HS-Linkケーブルで接続します。

HS-Linkケーブル1本でSA-CDとCDの両信号を伝送することができます。

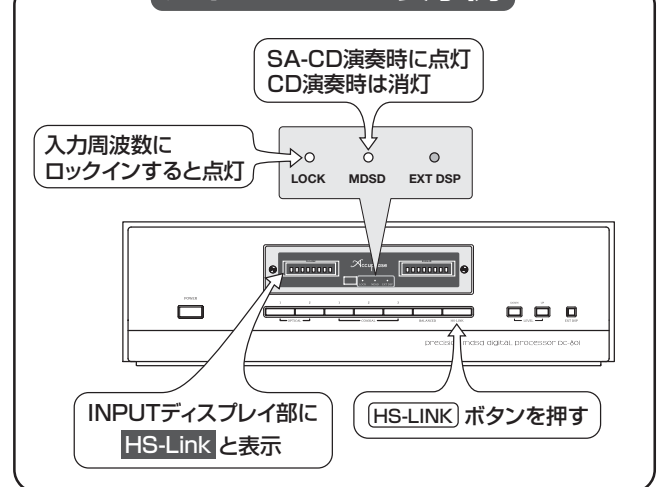
接続例



接続終了後は、次の手順で操作をしてください。

- ① 本機と共にDP-800、プリアンプ、パワーアンプの電源を“ON”にします。
- ② DC-801の入力セレクターで、接続した入力ポジション(HS-Link)を選択します。
- ③ DP-800を演奏状態にして、プリアンプのVOLUMEを上げると演奏が聞こえてきます。

ディスプレイの表示例



メモ

■ MDSD(Multiple Double Speed DSD)とは…

DC-801に搭載したSA-CDの新生方式です。アップサンプリングしたDSD信号を遅延させて、複数個並列駆動のD/Aコンバーターで変換し、それぞれのデータを変換後総加算する『移動平均フィルター』回路を構成、DSD信号をストレートにD/A変換する再生方式です。

- MDSD方式の詳しいブロック・ダイアグラムは16ページ参照。

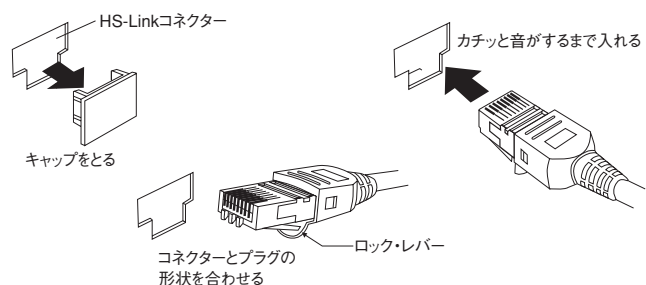
注意

- DP-100, DP-85などHS-Linkを装備している機器も同様に接続可能です。
- DP-78はオプション・ボードDO2-HS1を増設すると、HS-Linkの接続が可能です。

HS-Linkケーブルの接続

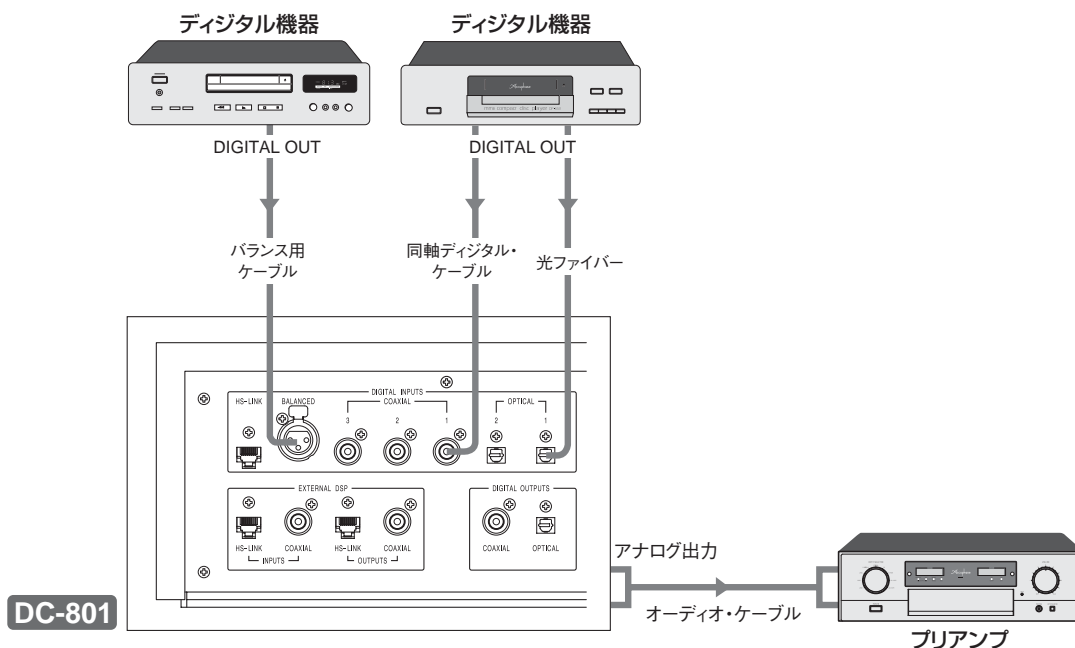
本体のHS-Linkコネクターのキャップを取り外し、HS-Linkケーブルのプラグを端子の形状に合わせて、カチッと音がするまでまっすぐに差し込みます。

抜くときは、プラグのロック・レバーを押しながら、軽く引き抜いてください。



CDなどをデジタル入力で演奏

DP-800(CD同軸出力)、FMチューナー(T-1000)、CDトランスポート、MDなど、サンプリング周波数96kHzまでのソースをデジタルで入力します。



接続ケーブル

BALANCED

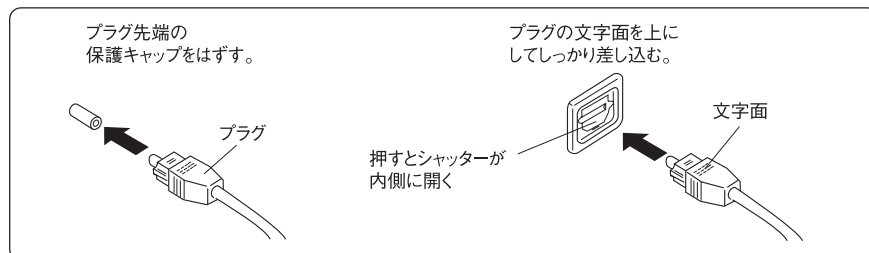
市販のデジタル・バランス・ケーブル(特性インピーダンス 110Ω)で、接続してください。

COAXIAL

ピンプラグ付75Ω同軸ケーブルで接続してください。

OPTICAL

JEITA規格の光ファイバーで接続してください。



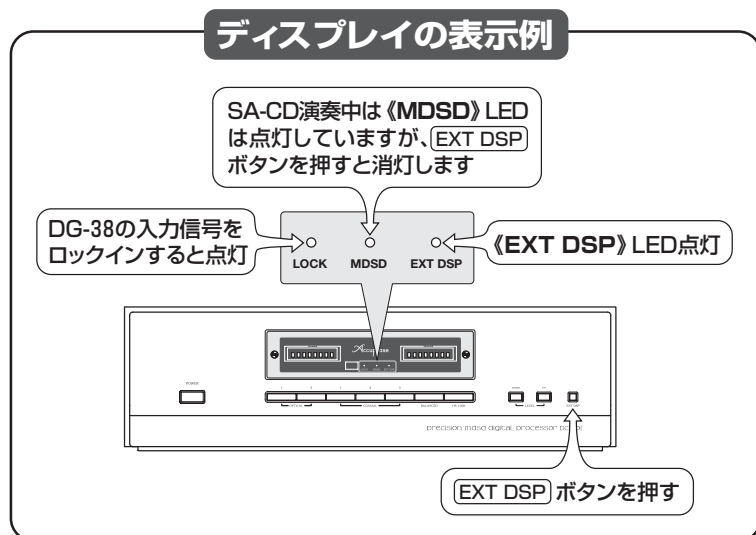
⚠️注意

- 光ファイバーは、曲げなどの力には非常に弱く、断線する場合があります。長さに余裕があるときは、セットの後ろで丸く(直径10cm以上)束ねて、決して強く曲げないでください。
- 光ファイバーは、コア(芯材)に光信号が通ります。プラグの先端のキズ、汚れ、レセプタクルの中の異物は、大敵です。使用しない時には、必ずキャップを付けてください。
- 光ファイバーの抜き差しは、プラグをしっかり持って行かない、ファイバーを引っ張らないように注意しましょう。

DG-38のデジタル接続例 — EXTERNAL DSPの使用

リアパネルの「EXTERNAL DSP」端子にデジタル・ヴォイシング・イコライザーDG-38をHS-Linkケーブルで接続して、デジタル信号での音場補正が可能になります。

DG-38を接続後は、**EXT DSP** ボタンを押して、DG-38の接続をON/OFFすることができます。



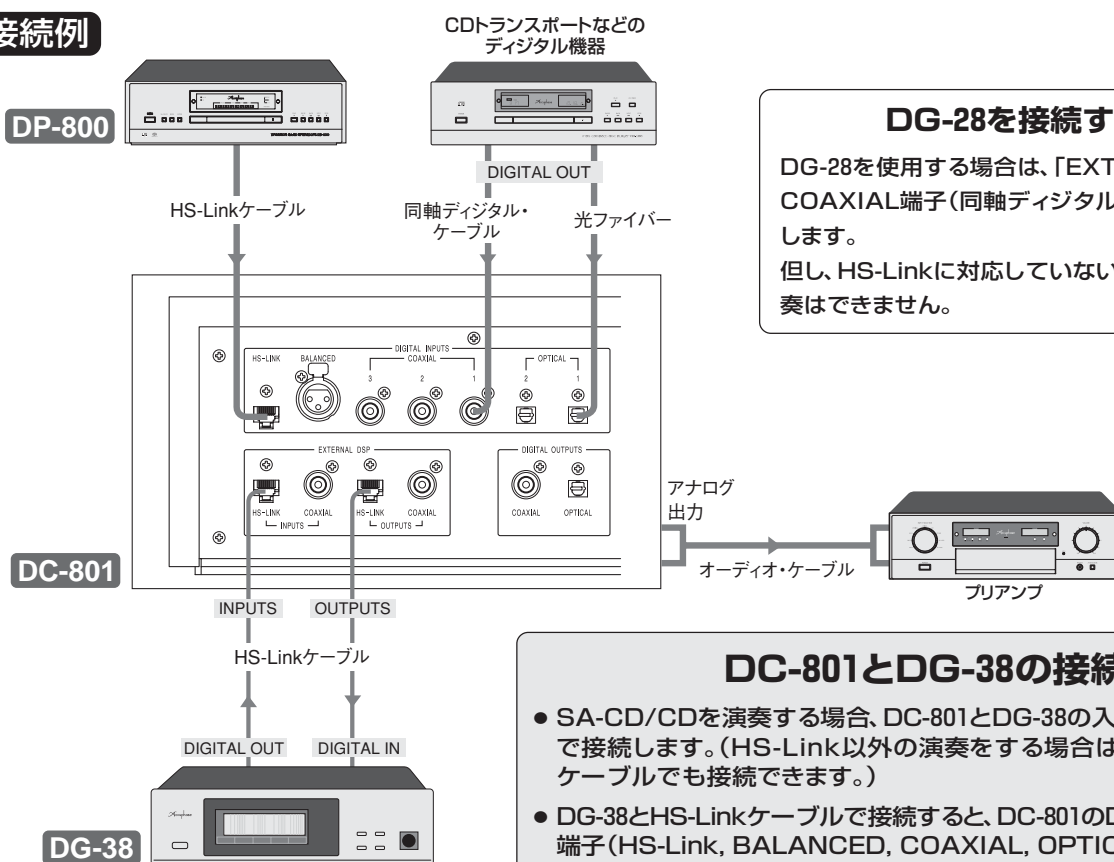
注意

EXT DSP端子に機器が接続されていないとき、またはDG-38の信号をロックインしないときは、**EXT DSP** ボタンを押してONにすると、アナログ出力は途切れます。

メモ

■ DG-38接続時は《MDS》LEDが消灯します
SA-CDの演奏時には、MDSでの再生となるため《MDS》LEDが点灯します。但し、**EXT DSP** ボタンを押してDG-38の挿入時は、MDSによる再生ではなくるので《MDS》LEDは消灯します。

接続例



DG-28を接続する場合

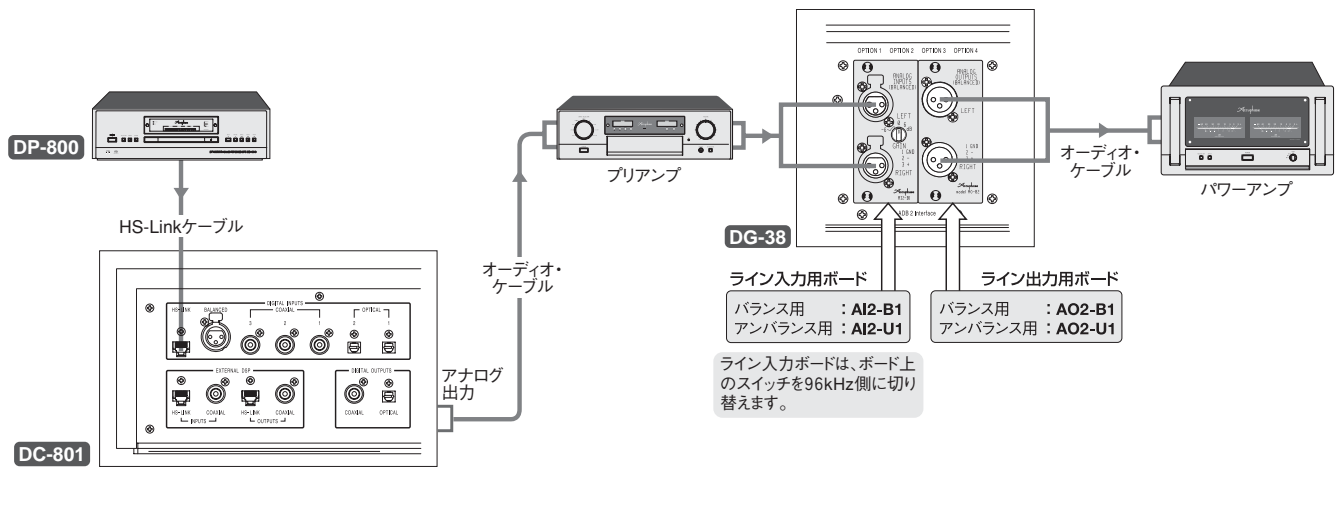
DG-28を使用する場合は、「EXTERNAL DSP」のCOAXIAL端子(同軸デジタルケーブル)で接続します。但し、HS-Linkに対応していないため、SA-CDの演奏はできません。

DC-801とDG-38の接続

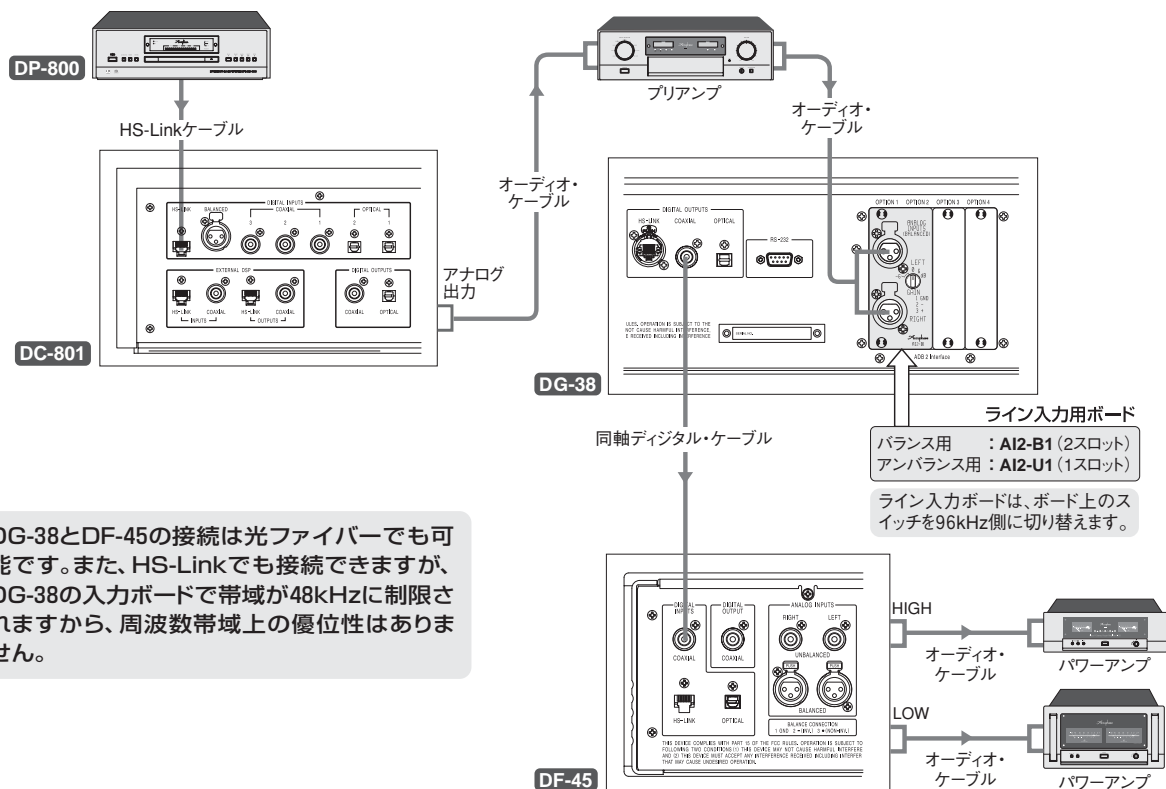
- SA-CD/CDを演奏する場合、DC-801とDG-38の入・出力は、HS-Linkで接続します。(HS-Link以外の演奏をする場合は、同軸デジタルケーブルでも接続できます。)
- DG-38とHS-Linkケーブルで接続すると、DC-801のDIGITAL INPUTS端子(HS-Link, BALANCED, COAXIAL, OPTICAL)への全ての入力信号が、DG-38と入・出力されます。
- DG-38をCOAXIAL(同軸デジタルケーブル)で接続した場合、SA-CD信号はロックインしません。
- HS-LinkとCOAXIAL両方のケーブルを接続した場合、HS-Linkが優先します。

DG-38のアナログ接続例

- DG-38をプリアンプとパワーアンプの間に接続します。
- DG-38のオプション・スロットに入力ボードと出力ボードを増設します。



さらにDF-45を接続する場合



DG-38とDF-45の接続は光ファイバーでも可能です。また、HS-Linkでも接続できますが、DG-38の入力ボードで帯域が48kHzに制限されますから、周波数帯域上の優位性はありません。

デジタル・レコーダーでの録音・再生の接続例

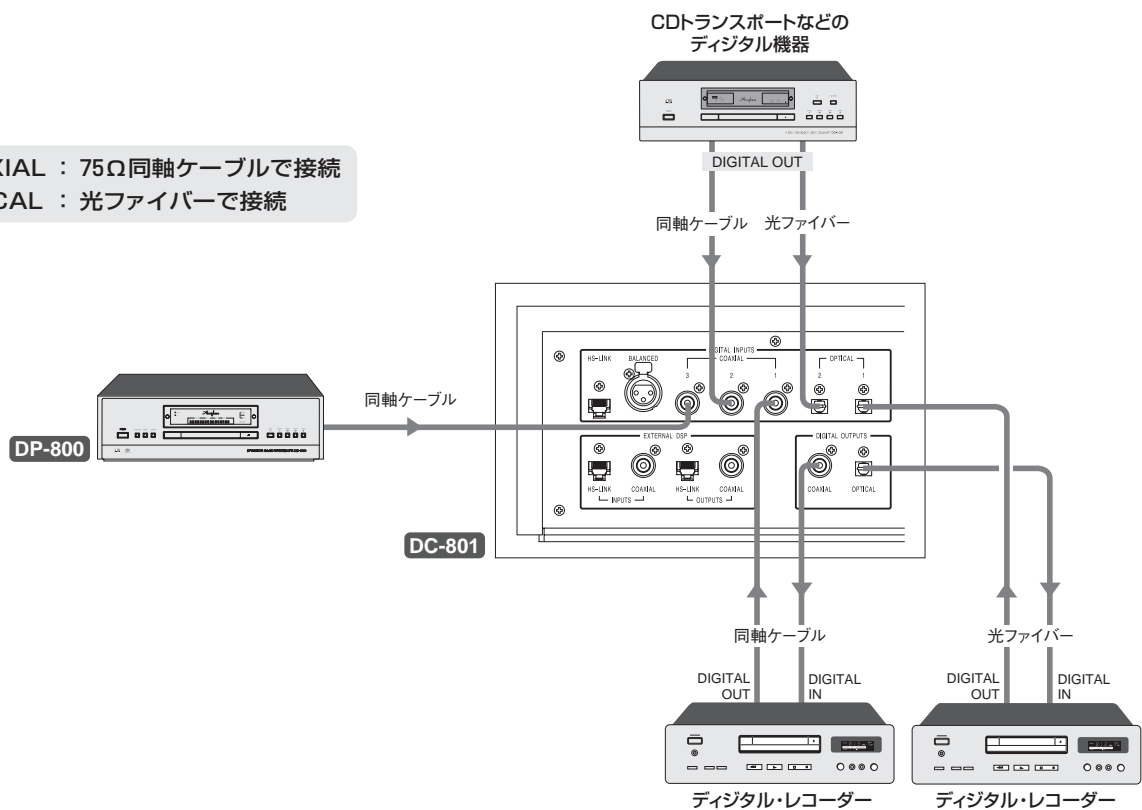
デジタル・レコーダーを接続して、SA-CD以外の録音・再生ができます。

※DIGITAL OUTPUTS端子には、入力セクターで選択した(現在演奏している)ソースが出力され、録音可能になります。但し、HS-Linkでの入力は除く。

- 注意：**
- HS-Linkで入力したSA-CD/CD信号は、DIGITAL OUTPUTS端子には出力しないため、デジタル録音はできません。アナログ録音の場合は、プリアンプのREC端子を使用してください。
 - DP-800のCD信号を録音する場合は、COAXIAL端子から同軸ケーブルで接続してください。

接続例

COAXIAL : 75Ω同軸ケーブルで接続
OPTICAL : 光ファイバーで接続



再生:プレイバック

レコーダーを再生状態にして、入力セクターで接続したソース(入力端子)に合わせれば再生音を聴くことができます。

録音:レコーディング

次の手順で操作をしてください。

- ① 録音したいプログラム・ソースを入力セクターで選択し、スピーカーから音を出して確認します。
- ② この信号がDIGITAL OUTPUTS端子からレコーダーへ出力されます。
- ③ レコーダーの録音をスタートすれば、スピーカーから出ている音が録音されます。
- ④ 本機のLEVELは、録音される音量には関係しません。

注意

- * デジタル録音の場合、SCMS(シリアルコピー・マネージメント・システム)により、一度デジタル録音で作成したソースは他のDATやMDにデジタルで録音することはできません。
- * デジタル録音の場合は、レコーダーの種類によって、録音側のサンプリング周波数を確認します。基本的には、ソース側とレコーダー側のサンプリング周波数が合わないと録音できません。
- サンプリング周波数96kHz以上のソースは、レコーダーが対応していないと録音できません。

7. 保証特性

[保証特性はJEITA測定法CP-2402Aに準ずる]

デジタル入力

HS-Link

コネクタ形状：RJ-45

適合ケーブル：HS-Link専用ケーブル

COAXIAL

フォーマット：IEC 60958

OPTICAL

フォーマット：JEITA CP-1212

BALANCED

デジタル・バランス・ケーブル：特性インピーダンス 110Ω

サンプリング周波数

32kHz, 44.1kHz, 48kHz, 88.2kHz, 96kHz

(各16~24bit 2ch PCM)

HS-Linkのみ対応

176.4kHz, 192kHz(各16~24bit 2ch PCM)

2.8224MHz (1bit 2ch DSD)

デジタル出力

COAXIAL

フォーマット：IEC 60958

OPTICAL

フォーマット：JEITA CP-1212

D/Aコンバーター

MDS方式(DSD信号)

MDS++方式(PCM信号)

周波数特性

0.5~50,000Hz +0, -3dB

全高調波ひずみ率 +雑音

0.0006% (20~20,000Hz間)

S/N

117dB

ダイナミックレンジ

117dB(24bit入力, LPF : OFF)

チャンネル・セパレーション

113dB(20~20,000Hz)

出力電圧・出力インピーダンス

BALANCED : 2.5V 50Ω 平衡 XLRタイプ

UNBALANCED : 2.5V 50Ω RCAフォノジャック

出力レベル・コントロール

0dB~-80dB (デジタル方式)

電 源

AC100V 50/60Hz

消費電力

22W

最大外形寸法

幅477mm × 高さ156mm × 奥行393mm

質 量

22.3kg

●本機は「JIS C-61000-3-2 適合品」です。

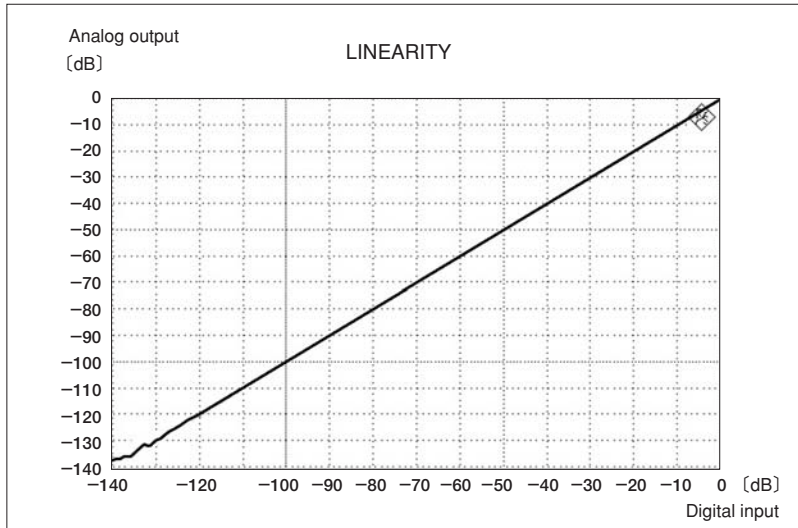
JIS C-61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値-高調波電流発生限度値(1相あたりの入力電流が20A以下の機器)」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

※本機の実験特性および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

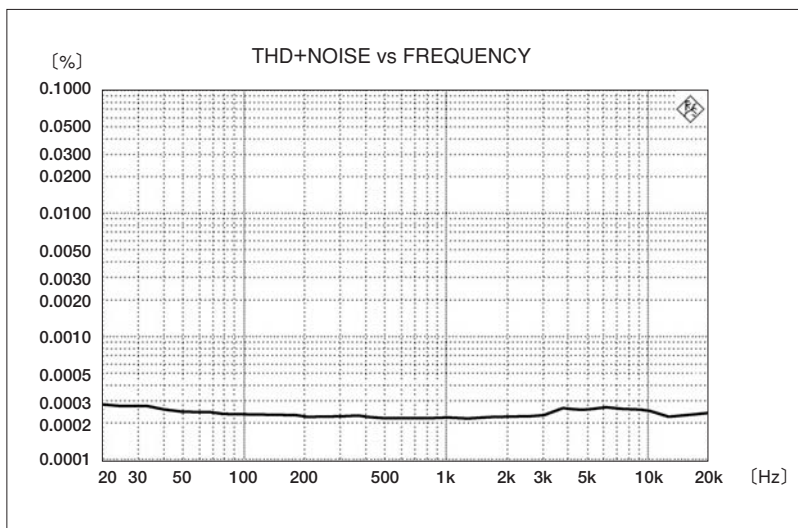
著作権について

放送や録音物(CD、テープなど)から、あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外、権利者に無断で使用することはできません。音楽作品は著作権法により保護されています。

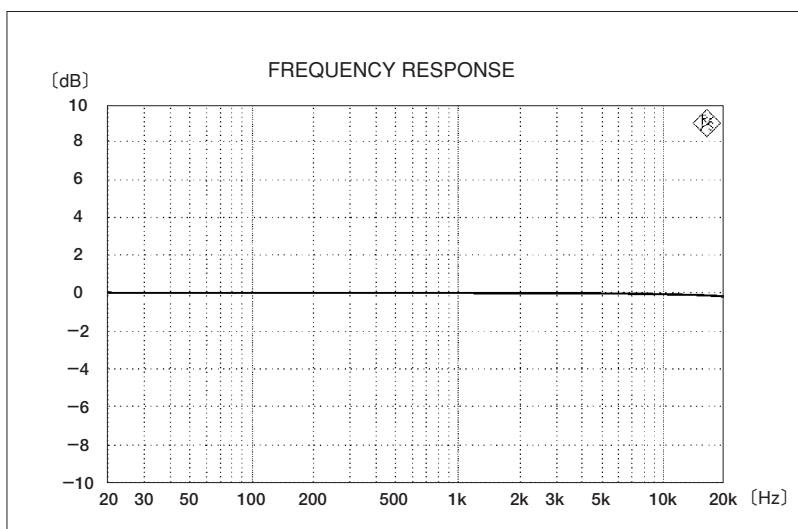
8. 特性グラフ



リニアリティ
(デジタル入力/アナログ出力)



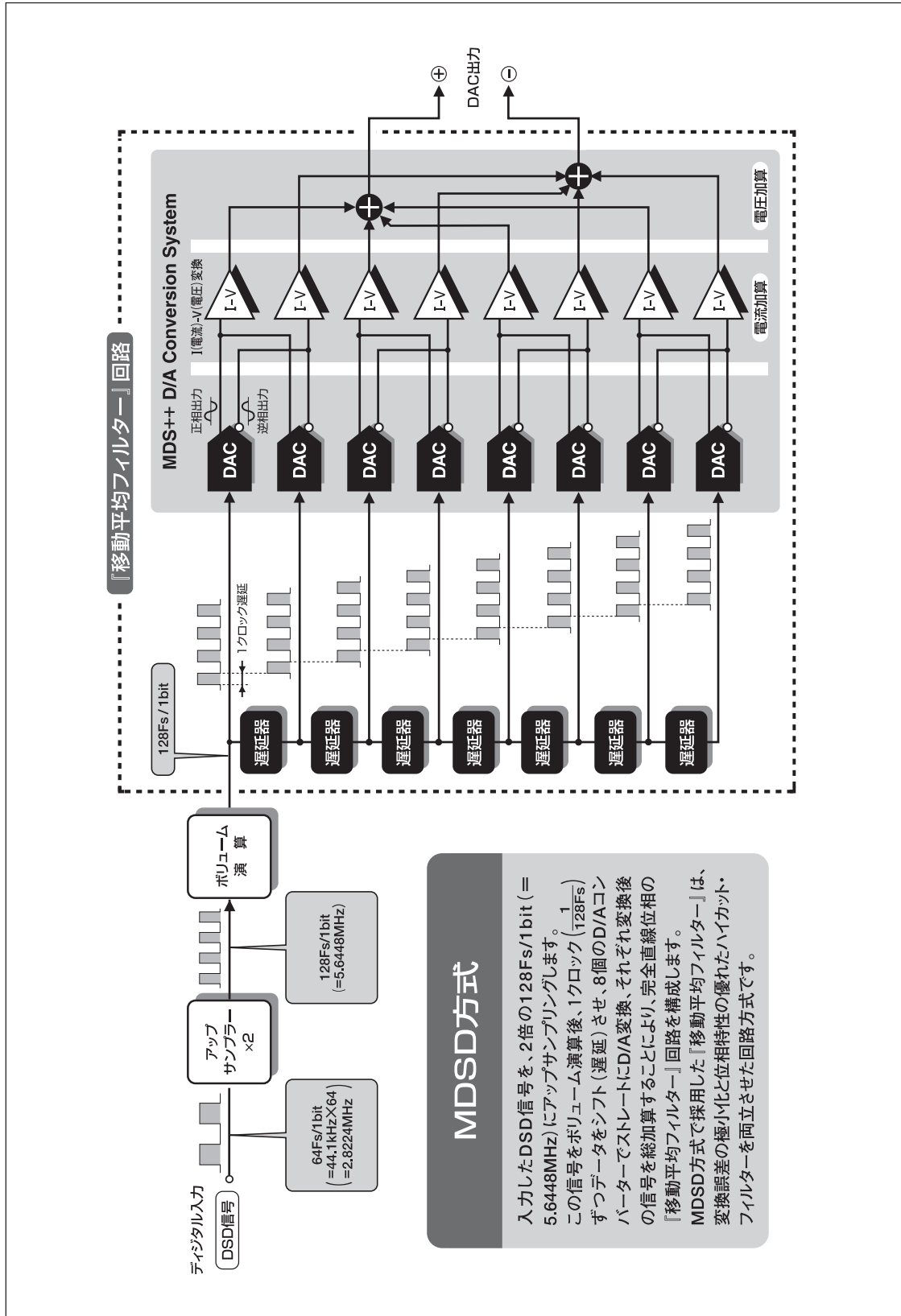
全高調波ひずみ率(雑音を含む) /
周波数特性



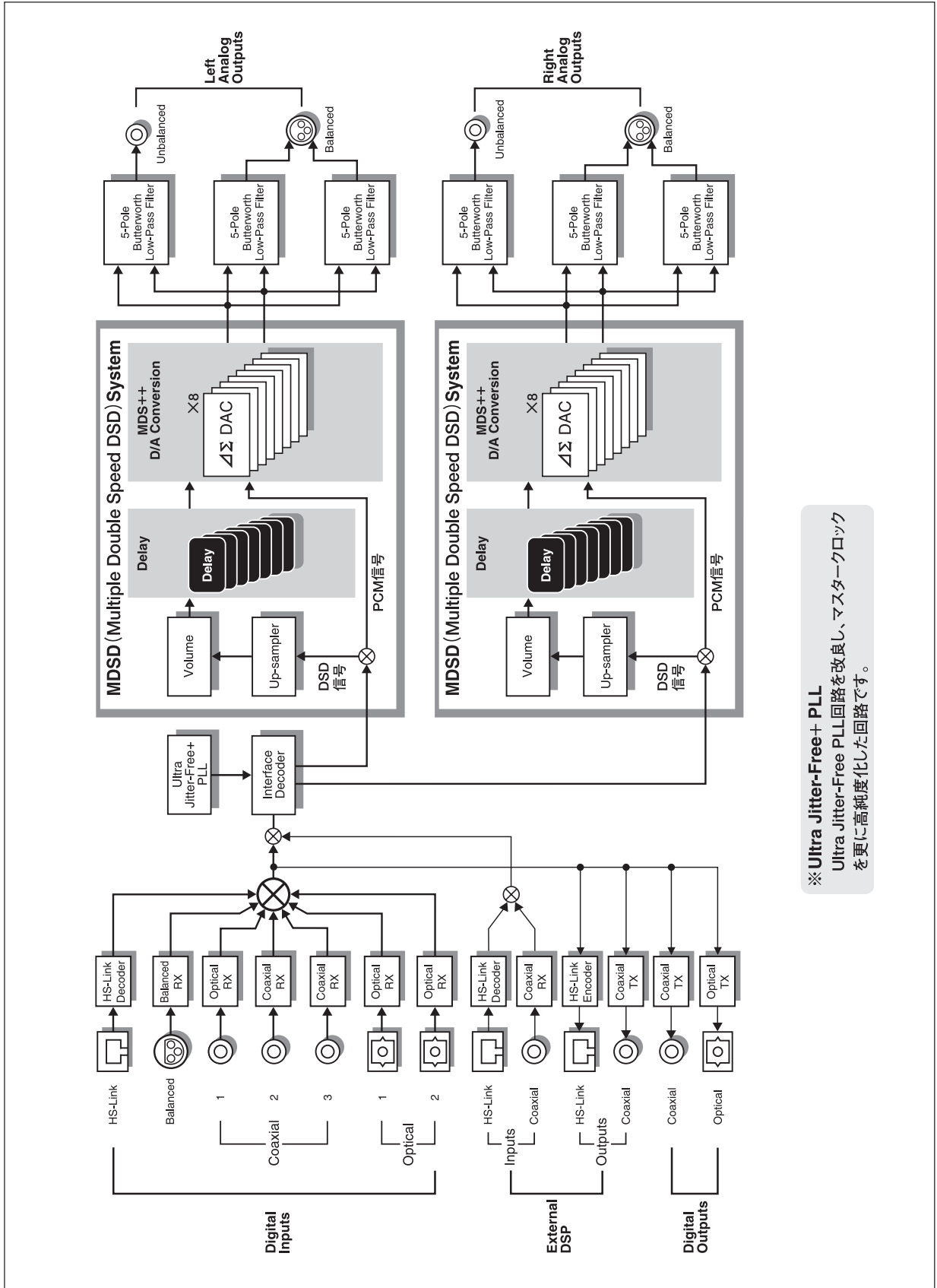
周波数特性

9. MDSD方式のブロック・ダイアグラム

MDSD : Multiple Double Speed DSD



10. ブロック・ダイアグラム



※ Ultra Jitter-Free + PLL
Ultra Jitter-Free PLL回路を改良し、マスタークロックを更に高純度化した回路です。

11. 故障かな？と思われるときは

故障かな？と思われるときは、修理を依頼される前に、下記の項目をチェックしてください。
これらの処置をしても直らない場合には、当社製品取扱店または当社品質保証部にご連絡ください。



注意

：接続を変える場合には、必ず各機器の電源を切る。

電源が入らない(ディスプレイが点灯しない)

- 電源コードが抜けていませんか。(本体側、コンセント側確認)

音がでない。またはレベルが低い

- DG-38を接続していないとき、接続していても電源が入っていないときは、**EXT DSP** ボタンをON(LEDが点灯)にすると音が出ません。(11ページ参照)
- ソース側機器やアンプの電源は入っていますか。
- 入力セレクターを確認します。
- 接続コードは正しく接続されていますか。
- 本機の**LEVEL**ボタンで出力レベルを確認します。
- 選択した入力のサンプリング周波数をロックインしていますか。

音が途切れたり雑音が出る

- 接続コードのプラグの汚れ、接触を点検します。
- 光ファイバーはJEITA規格品ですか。
(規格に適合しないものは正常な動作ができません)

片側から音が出ない

- アナログ出力コードを左右入れ替えます。
同じ側から音がでない …… アンプ側に原因が考えられます。
左右逆になる …………… 本機に原因が考えられます。

外部接続機器(デジタル)の出力がない

- 周波数をロックインしていますか。
《**LOCK**》LEDの点灯を確認します。(8ページ参照)
- 光ファイバー、同軸などそれぞれ接続したケーブルをお確かめください。

リモート・コマンダーで操作できない

- 電池は入っていますか。
- 新しい電池に交換してみましょう。
- 受光部付近に障害物はありませんか。

12. アフターサービスについて

保証書

- 保証書は本体付属の「お客様カード」の登録でお送りいたします。
- 「お客様カード」の「お客様情報欄」には付属の「目隠しシール」を貼ってご返送ください。
- 保証書の記載内容により、保証期間はご購入日から3年間です。
- 「お客様カード」の登録をされていない場合、購入日は当社からの出荷日が適用されます。
- 保証書登録は付属の「お客様カード」で行われますが、購入が不適切な場合は登録できないことがあります。
- 保証書がない場合には、保証内修理をお断りする場合があります。よくお読みのうえ、大切に保存してください。
- オプション・ボードやオプション・ユニットには「お客様カード」は付属していません。

保証期間が過ぎてしまったら

- 修理によって性能を維持できる場合には、ご希望により有料で修理いたします。
- 補修部品の保有期間は経済産業省指導により、製造終了後最低8年間となっています。使用期間が相当経過している場合には、当社品質保証部にお問い合わせください。



注意

保証期間以降、長期に渡ってご使用の場合には、当社の定期的な点検をお勧めします。

その他

- 改造されたものは修理ができませんのでご了承ください。
- 本機の故障に起因する付随的損害(営利的使用に関する諸費用、使用により得られる利益の損失等)については補償できません。
- AC100V以外(海外)では使用できません。
- 保証は日本国内のみ適用されます。
Accuphase warranty is valid only in Japan.

お問い合わせは

- ご質問、ご相談、当社製品取扱店のご案内などは、下記の当社品質保証部へお願いします。

アキュフェーズ株式会社 品質保証部
〒225-8508 横浜市青葉区新石川 2-14-10
TEL 045(901)2771(代表)
FAX045(901)8995

- 修理のご相談は、お買い求めの当社製品取扱店へお願いします。
- 当社のホームページ上でも修理の問い合わせが可能です。
<http://www.accuphase.co.jp/>

修理依頼の場合には

- “故障かな?と思われるときは”をご確認後、直らない場合には、電源プラグをコンセントから抜き、当社製品取扱店に修理を依頼してください。

次の内容をお知らせください。(保証書参照)

- モデル名、シリアル番号
- ご住所、氏名、電話番号
- ご購入日、ご購入店
- 故障状況:できるだけ詳しく

※梱包材は、輸送時に必要となりますので、保管しておいてください。

Notes:

Ruled lines for taking notes.



ACCUPHASE LABORATORY, INC.
アキュフェーズ株式会社

横浜市青葉区新石川2-14-10
〒225-8508 TEL(045)901-2771(代)
<http://www.accuphase.co.jp/>